

東谷山 (2/17) 山スキー報告 (2)

【山城】新潟・東谷山

【日程と天気】2017年2月17日(日)

【メンバー】CL 菊池・池田・薄井・庭田

【行程】

千葉―二居―地王堂川沿―台地―作業道―南尾根―東谷山山頂―北斜面滑走(標高差100m)―山頂―北西斜面滑走―貝掛温泉入口―バス―二居―帰葉



・今シーズン 2/2 に続いて 2 回目の東谷山、深雪ツアーも終盤の時期にもかかわらず最高の激パウを堪能できた。今回は忙しいわが会の 40 才台の若手 3 人と同行した。前日の降雪は湯沢で 20 cm ほどであったが、現地は深いところで腰パウでした。北西斜面は先行 P のシュプールが多いがノートラを選んでのツリーラ



ン、I君も泳ぐように決めています。今シーズン 2/2 に続いて 2 回目の東谷山、深雪ツアーも終盤の時期にもかかわらず最高の激パウを堪能できた。今回は忙しいわが会の 40 才台の若手 3 人と同行した。前日の降雪は湯沢で 20 cm ほどであったが、現地は深いところで腰パウでした。北西斜面は先行 P のシュプールが多いがノートラを選んでのツリーラン、I君も泳ぐように決めています。

- 今回は一般的な二居峠―雪庇尾根ルート of ストレスを避けて地王堂川沿い―南面作業道・尾根ルートを選択、大量降雪のため先行トレースがあり助かった。作業道ですが先行者の膝上ラッセルのトレースを快適に辿る。先行 P はどうやら早まって急な尾根にとりついている。我々は吹き溜まりで分かりにくい作業道ルートをそのまま進むが激ラッセルでこんな場面に出くわし難儀した。大量降雪直後のトップはきつい。右側にルート変更するとあまり苦勞せず進めた。ここが登りの核心部であった。



先行 P はすごい急登りを脱して再び作業道ルートに出て、正規の最後の尾根にとりついていた。ラッセルのお礼を言って、わが P がラッセルの先頭に立つ、南面でありやや重の極めて深いラッセルに苦勞しながら頑張って高度を上げる。10 年位前からこのルートに通って



いたが今回が最も激しいラッセルであった。キックターンのポイントが大事で苦勞するトップ。先ほどの作業道の吹き溜まりと同様、ルート選択の重要性を説明しながら



らハイクアップ。この稜線直下の尾根のブナ林はいつも感激する。今回も晴れ間が広がってきて、「東谷山ブルー」に映える素晴らしいブナ林に癒されながら最後の頑張りです。ラッセルでお世話になった先行 P は地元のガイドさんのボード P でした。

山頂も近くなり談笑しながらハイクアップした。一気につらいハイクアップから解放され、最後尾で撮影しながら歩を進めた。山頂に到着しそうな一般ルートから登ってきた大勢の P が見えます。既に滑走シュプ

ールもかなり見られます。滑走意欲を抑えながら最後の頑張りです。一般ルートで上がってきた若者 P の所要時間は 3 時間とのことでした。われわれは後半ラッセルで苦勞しましたが 3 時間 40 分ほどの所要時間を要しましたが、やはり今回のルートのほうがストレスは少なく高齢者・女性向きですね。ラッセルがなしであれば 3 時間強で登れるでしょう。



2/10 日の nice edge はお客さんをガイドし二居峠ルートで 5 時間かかったとのこと。

- ・時間的余裕があるため、1本目は混んでいてもいつもノートラを楽しめる北斜面に若者を案内した。今回は東谷山初体験の2名にこの素晴らしいツアールートを伝授することが目的です。スタート直後は緩斜面ですが軽いパウダーに気持ちよくターンできます。I君が続きます。素晴らしい滑走感覚です。



小生は今回ATです。深雪ツアーはテレマークのほうが気持ち良いと感じていますが、今回は激深ですが、ATでも浮遊感たっぷりで気持ちよくターンできます。マイシュプールの後方からメンバーが追随します。マイシュプールとI君の豪快な滑走シーンの会心のshotです。あまり下りすぎるとラッセルが大変なため、今回は標高差80mほど、軽い極上パウダーは停止すると深いところで腰パウでした。シールを張るメンバーは腰まで埋まっていました。気持ち良いブナ林を頑張ってハイクアップで、間もなく山頂です。前日の降雪の厳しさがブナの樹肌から感じられます。やはり北斜面のノートラは美味しゅうございました。



- ・行動食摂取・休憩後いよいよ貝掛温泉に向かってのロングツリーランです。平標・仙ノ倉をバックに記念撮影後スタートしました。先行シュプールのなるべく少ないノートララインを選んで滑走開始。今回唯一のテレマーカーNWさんが華麗に続きます。急斜面は激深です。小生もATで楽しんでいます。Uさんも激パウを楽しんでいます。激パウと格

闘し切り抜けている場面もあります。



下部はすり鉢状に収斂し木々が多く、先行シュプールでギタギタです。2/2 ほど重くはなっていませんが、深雪過ぎる急斜面に苦勞します。果敢に慎重に攻める I 君です。最後まで気を抜かないようアドバイスしながらフィナーレを迎えました。貝掛温泉到着に間に合わせるように待ち時間 0 分でバスに乗車できラッキーでした。若者 3 人にこのルート

を伝授でき幸せを感じる一日でした。今回の GPS トラックです。来年も行けるようトレーニングに精進しましょう。

